



2026年4月30日

各位

会社名 シンプレクス・ホールディングス株式会社  
代表者名 取締役社長 金子 英樹  
(コード番号: 4373 東証プライム市場)  
問合せ先 取締役 CFO 江野澤 慶亮  
(Tel. 03-3539-7370)

## シンプレクスグループ中期経営計画「中計 2030 -Vision1000-」を策定

当社は、2027年3月期から2030年3月期までのシンプレクスグループ中期経営計画「中計 2030 -Vision1000-」を策定しましたので、お知らせいたします。

### 1. 中期経営計画「中計 2030 -Vision1000-」の位置づけ

DXの潮流の中、シンプレクスグループが一定の社会的インパクトを持つ企業となるためには、まずは売上収益1,000億円を実現することが重要であると考えております。こうした考えの下、持続的な企業価値向上を図るための長期成長戦略として、シンプレクスグループの目指すべき姿を定めた「Vision1000」を掲げております。

シンプレクスグループは、2025年3月期から2027年3月期までの3カ年を対象期間とする中期経営計画「中計 2027」に基づき、グループシナジーの発揮に取り組むことにより、着実に事業基盤の拡大を進めてまいりました。足元では、DXに関する需要が引き続き高水準で推移しており、これを着実に取り込みながら、AI活用を通じて提供価値と競争力の向上を図ることが重要であると認識しております。

こうした取り組みの進捗及び足元の事業環境を踏まえ、当社は、「Vision1000」で掲げる売上収益1,000億円の実現時期を2030年3月期に明確化いたしました。これに伴い、その達成に向けた成長戦略及び数値目標を定めるものとして、「中計 2027」を発展的に見直し、2027年3月期から2030年3月期までの4カ年を対象期間とする中期経営計画「中計 2030 -Vision1000-」を策定いたしました。

### 2. 中期経営計画「中計 2030 -Vision1000-」における主要経営目標

	2026年3月期 (実績)	2030年3月期 (目標)
売上収益	58,682百万円	100,000百万円
営業利益	14,420百万円	25,000~30,000百万円
営業利益率	24.6%	25~30%
ROE	21.0%	25~30%

※ 2030年3月期の数値目標は、M&Aの寄与を含んでおりません。

※ 2030年3月期の営業利益、営業利益率及びROEについては、AI活用の推進や非労働集約型ビジネスの確立等による向上を見込む一方、その効果の発現時期及び水準については現時点で変動要素を含むことから、レンジで目標設定しております。

※ 上記目標は、本資料の作成日時点において入手可能な情報に基づき策定したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により異なる可能性があります。

詳細につきましては、当社IRサイトに掲載の説明資料をご参照ください。

<https://www.simplex.holdings/ir/library/>

以上